

樹木

の植え方・育て方

用意するもの

スコップ



バーク堆肥40リットル



細い丸太支柱1本



太めの麻ヒモ



知っておきたい

植え付け前の豆知識

＼苗木の選び方／

鉢底から根が出ているものなど、根鉢がしっかりした苗木を選びましょう。



＼苗木の保管方法／

水やりを行い、立てて置きましょう。寝かせると樹木が休眠状態になり、活着率が低下します。



＼植える場所の選び方／

セレクトした植物が好む日照条件にあった植栽場所を選びましょう。

＼植え付けに適した季節／

植え付け最適期は春ですが、それ以外の季節でも可能です。ただし暑さ寒さが厳しい時期は避けてください。

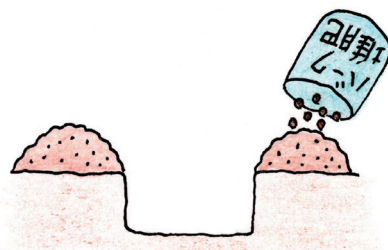
植え方（高さ1.5mの場合）

1. 植え穴を掘る



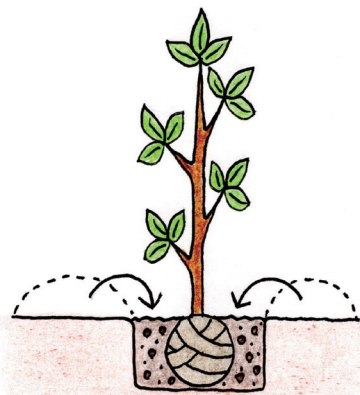
根鉢(ねばち)の直径の1.5倍の植え穴を掘ります。深さは根鉢の高さと同じにします。

2. 堆肥を混ぜる



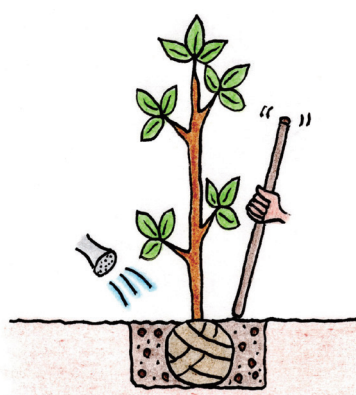
掘り上げた土にバーク堆肥(20リットル)を混ぜます。通気性と排水性などが高まります。

3. 根鉢を入れる



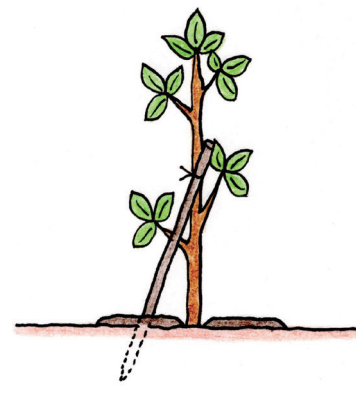
植え穴に根鉢を入れ、2で掘り上げた土を埋め戻します。ビニールポットの場合は、ポットを取り外して植えます。

4. 土を密着させる

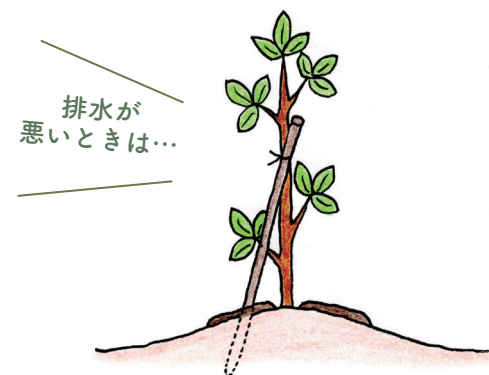


たっぷり水やりしながら、根鉢と土が密着するように棒などで土を突きます。根鉢の天端(てんば)と地表面を同じ高さにします。

5. 支柱を立てる



斜めに立てた丸太支柱と苗木を麻ヒモで結びます。仕上げに、水やりをしてから地表面をバーク堆肥(20リットル)で覆うと、保湿性がアップし活着率が高まります。



排水が悪い場合は地面より土を盛り上げて植え付けます。

育て方（植え付け後の管理）

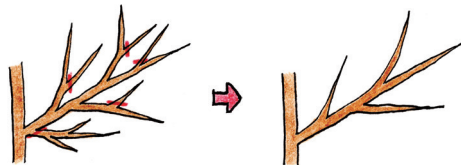
水やり

地表面が乾いたら水をたっぷり与えてください。水やりを自動で行う灌水装置もあります。水を多く必要とするハナミズキやアジサイ、乾燥気味でも育つシャリンバイなど、樹種によって必要とする水分量が異なります。



剪定

1～2年は枝葉を多くして樹勢を付けたいので、剪定は最低限度にします。3年目以降は混み合った部分の枝と枝の分かれ目で剪定すると自然樹形を保つことができます。



肥料

毎年2月に1回の寒肥(かんごえ)だけで十分です。お好みの肥料袋の説明書き通りに与えてください。与えすぎると病虫害の原因になりますので注意します。



病虫害対策

水やり、適度な剪定や施肥を行い健やかに育てるだけで対策になります。病虫害が発生した場合は、枝葉ごと切り取り処分してください。大きく広がった場合は、市販の殺虫剤や殺菌剤の説明書き通りに使ってください。



よくある質問

Q バーク堆肥でなく腐葉土でも良いですか？

A 完熟していて葉の原形がなくなっていれば大丈夫です。

Q おすすめの肥料を教えてください。

A 醗酵油かすは臭いが少なく、土壌改良にもなるのでおすすめです。

Q 剪定に必要な道具を教えてください。

A 剪定バサミのみで良いですが、安価なモノは避けます。

Q どのような支柱を使えば良いですか？

A 一番細い丸太支柱で十分です。

Q 支柱はいつまで必要ですか？

A 2年目までです。3年目以降は不要です。